

運輸業(運送業)の財務分析

令和元年5月15日

中小企業診断士

梅澤 尚稔(うめざわ なおとし)

目次

- 1.産業分類
- 2.産業分類による運送業の区分け
- 3.市場規模
- 4.事業特性
- 5.運送業を取り巻く環境
- 6.3社比較
- 7.各社の紹介
- 8.個人演習
- 9.グループ討議
- 10.発表
- 11.まとめ

1.産業分類

大分類	中分類	小分類	細分類	項目名
H				運輸業，郵便業
	42			鉄道業
	43			道路旅客運送業
	44			道路貨物運送業
		440		管理，補助的經濟活動を行う事業所（44道路貨物運送業）
		441		一般貨物自動車運送業
			4411	一般貨物自動車運送業（特別積合せ貨物運送業を除く）
			4412	特別積合せ貨物運送業
		442		特定貨物自動車運送業
			4421	特定貨物自動車運送業
		443		貨物軽自動車運送業
			4431	貨物軽自動車運送業
		444		集配利用運送業
			4441	集配利用運送業
		449		その他の道路貨物運送業
			4499	その他の道路貨物運送業
	45			水運業
	46			航空運輸業
	47			倉庫業
	48			運輸に附帯するサービス業
	49			郵便業（信書便事業を含む）

2.産業分類による運送業の区分け

➤ 一般貨物自動車運送業

不特定多数の荷主の需要に応じ有償でトラックを使用し貨物の運送を行うもの

➤ 特別積合せ貨物運送業

不特定多数の顧客から集荷した貨物を①起点及び終点の営業所において必要な仕訳を行い②集荷された貨物を定期的に運送するもの
いわゆる宅配業者

➤ 特定貨物自動車運送業

特定の者の需要に応じ有償で自動車を使用し貨物を運送するもの
1事業者=1荷主 物流子会社など

2.産業分類による運送業の区分け

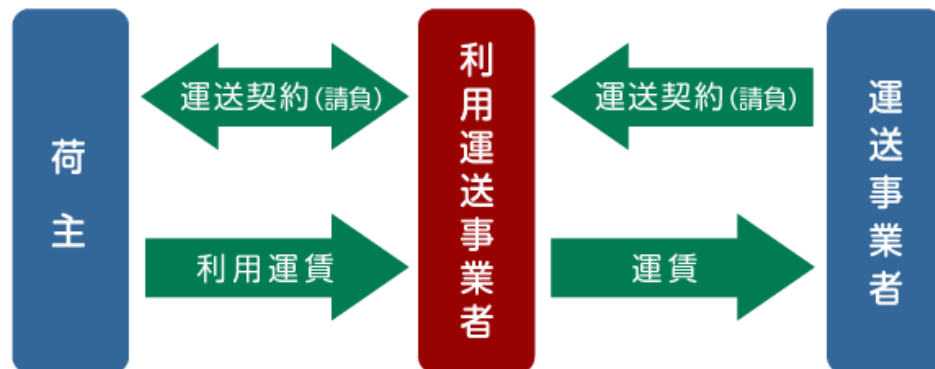
➤ 貨物軽自動車運送事業

軽貨物車による運送事業 赤帽など1台から可



➤ 集配利用運送事業

自ら輸送手段を持たず貨物を運ぶ事業者。相手方を傭車先という



3.市場規模 物流業、区分別の事業規模

区分	営業収入	事業者数	従業員数	中小企業の割合
トラック運送業	145,449億円	62,176	188万人	99.9%
JR貨物	1,363億円	1	0.6万人	0.0%
内航海運業	8,370億円	3,510	6.8万人	99.6%
外航海運業	47,561億円	194	0.7万人	53.3%
航空貨物運送業	3,028億円	21	3.5万人	23.8%
港湾運送業	10,736億円	868	5.1万人	88.5%
鉄道利用運送業	2,970億円	1,090	0.7万人	87.2%
外航利用運送事業	4,623億円	911	0.5万人	78.8%
航空利用運送事業	4,975億円	195	1.3万人	66.0%
倉庫業	16,587億円	6,037	8.9万人	91.7%
トラックターミナル	283億円	16	0.06万人	93.8%
物流業合計	約25兆円	約75,000	約216万人	

出典：国土交通省資料「目でみる物流2017」

3.市場規模 保有車両別会社数

区分	一般貨物	特積	特定	合計	比率
10両未満	29,853	18	413	34,819	56.0%
11-20両	12,989	8	32	13,148	21.1%
21-30両	5,809	14	9	5,862	9.4%
31-50両	4,319	24	4	4,360	7.0%
51-100両	2,742	56	3	2,806	4.5%
101-200両	747	79	0	829	1.3%
201-500両	204	50	1	255	0.4%
501両以上	59	37	1	97	0.2%
合計	56,722	286	463	62,176	100.0%

出典：国土交通省資料「k貨物自動車運送事業者数(規模別)」

3.市場規模 国内物流会社売上高順位(単体)

順位	会社名	売上高(百万円)
1	ヤマト運輸	1,227,115
2	日本通運	1,094,549
3	佐川急便	835,707
4	TSネットワーク	633,029
5	山九	375,385
10	鴻池運輸	196,982
50	物流ロジスティクスソリューションズ	58,000
100	ANA cargo	39,600
200	日発運輸	21,151
359	東部ネットワーク	11,912
404	南総通運	10,635
500以下	大宝運輸	8,402

出典：Logi Biz 2019年2月より抜粋

4.業界の特徴

➤ 労働集約型ビジネス

高い労働分配率

運送コストは主に人件費(40%以上)、車両代、燃料代

➤ 多層構造

一部の運送会社を除き殆どが中小企業。大手元請業者による下請け、孫請けへの再委託が常態。

➤ 「モノを運ぶ」というサービス業

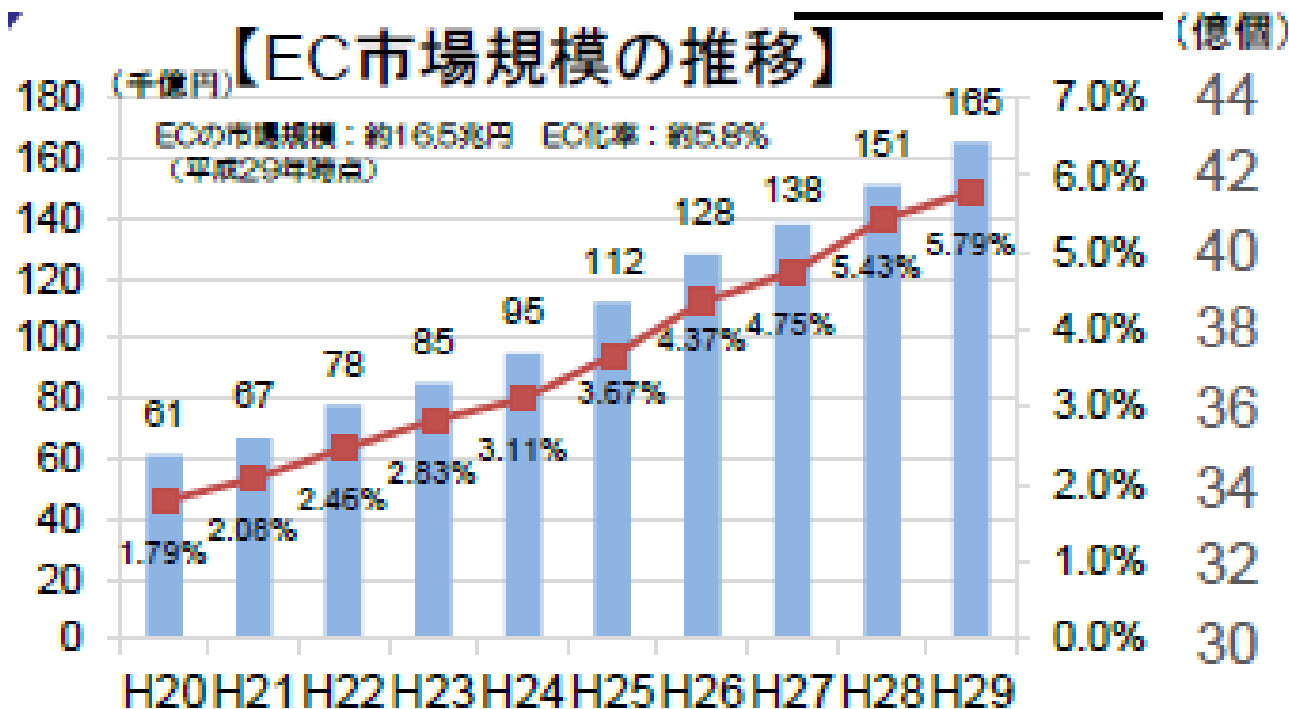
実需に沿った売上となり景気に左右されやすい。

荷主に対して弱い立場

5. 運送業を取り巻く環境

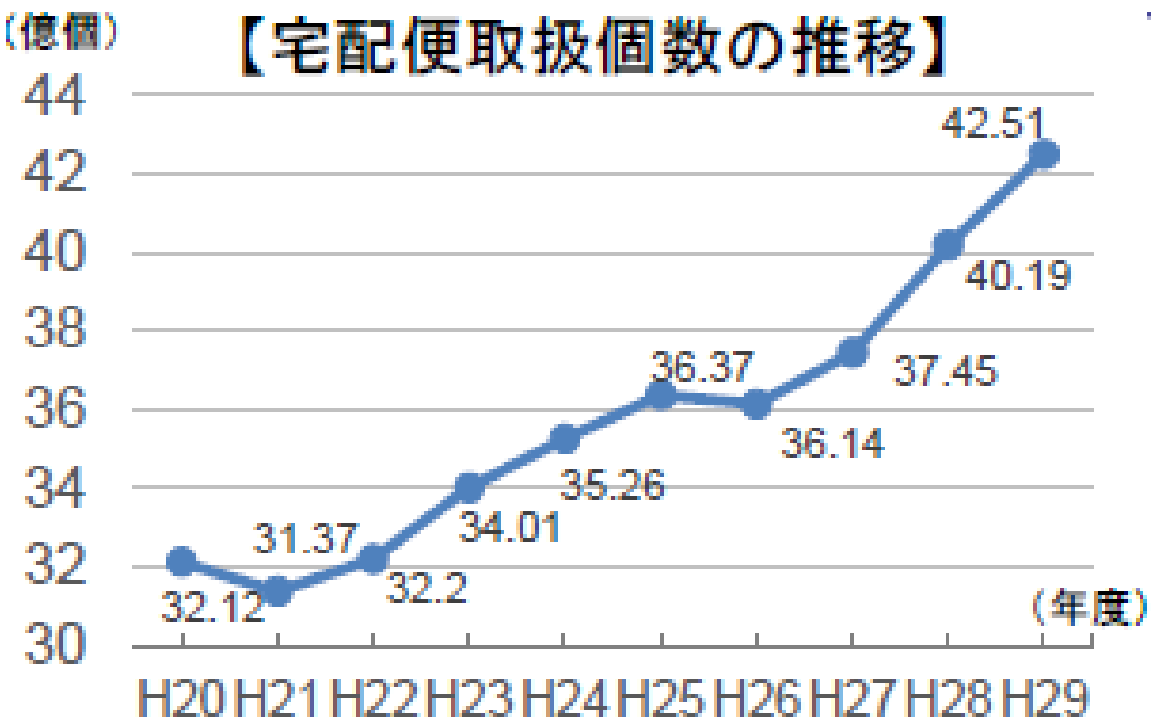
EC市場の拡大と増え続ける宅配便 小口多頻度化

【EC市場規模の推移】



出典：経済産業省「電子商取引に関する市場調査」

【宅配便取扱個数の推移】



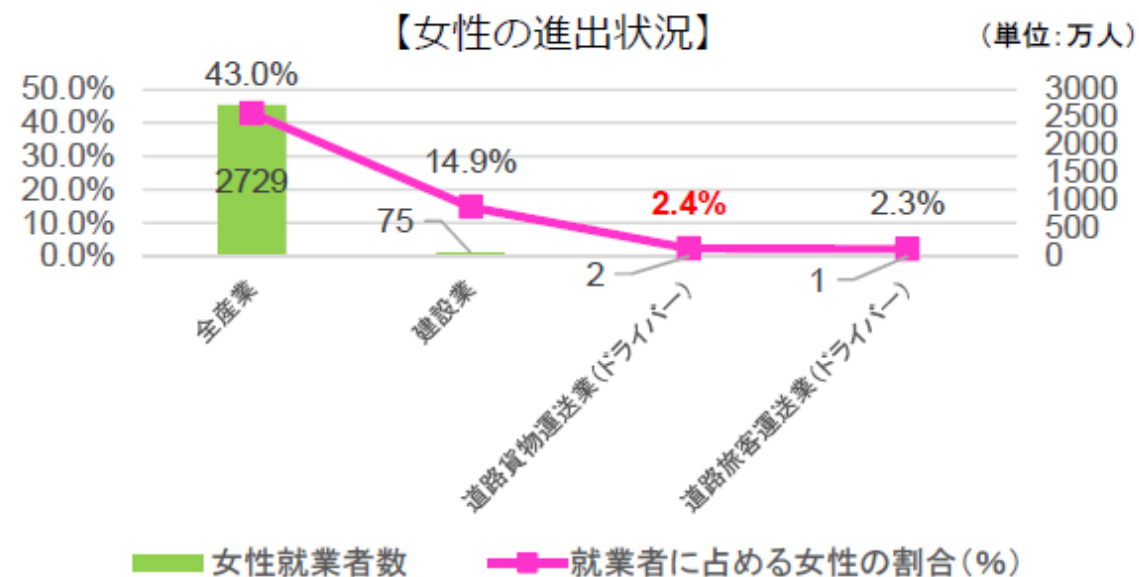
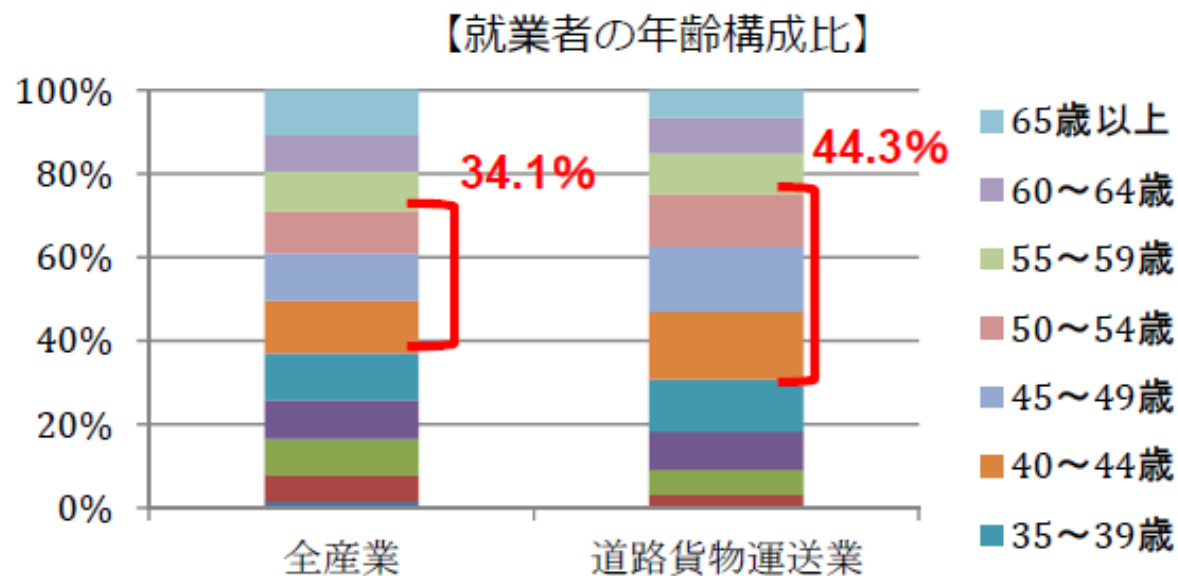
出典：国土交通省「宅配便等取扱個数の調査」

5. 運送業を取り巻く環境

➤ 担い手不足

高齢化 : 40歳以上では10%高い

女性比率 : 2.4%(建設業15%)



出典：総務省「労働力調査2016年」より作成

5. 運送業を取り巻く環境

➤ 担い手不足

長時間労働 : 年間約2,500時間(全業種平均2,124時間)

低賃金 : 約425万円(全業種平均490万円)

	所得額	労働時間
全産業	490万円	2,124時間
営業用貨物自動車運転者(大型)	447万円	2,604時間
営業用貨物自動車運転者(中小型)	399万円	2,484時間

出典：厚生労働省資料参照

5. 運送業を取り巻く環境

➤ 労務管理の徹底

2006年、福岡 海の中道大橋飲酒運転事故

2012年、観光バスによる大規模な人身事故

⇒ 運行管理の徹底、飲酒運転撲滅に向けた国の取り組み強化

⇒ 安全装置(デジタルタコグラフ=運行管理記録、アルコールチェック)の義務化など

最近ではドライブレコーダー、バックアイモニターの導入推奨等

5. 運送業を取り巻く環境

➤ 国の取り組み

- 宅配便再配達削減の為のオープン型宅配ボックスの普及活動
- 自動運転(隊列走行)
- ドローンによる山間部の配達検討
- 民間施設直結スマートインターチェンジ制度の導入
- 女性の働きやすい労働環境整備への支援
- 待機時間の削減に向けた取り組み(荷主勧告制度、バース予約制度)

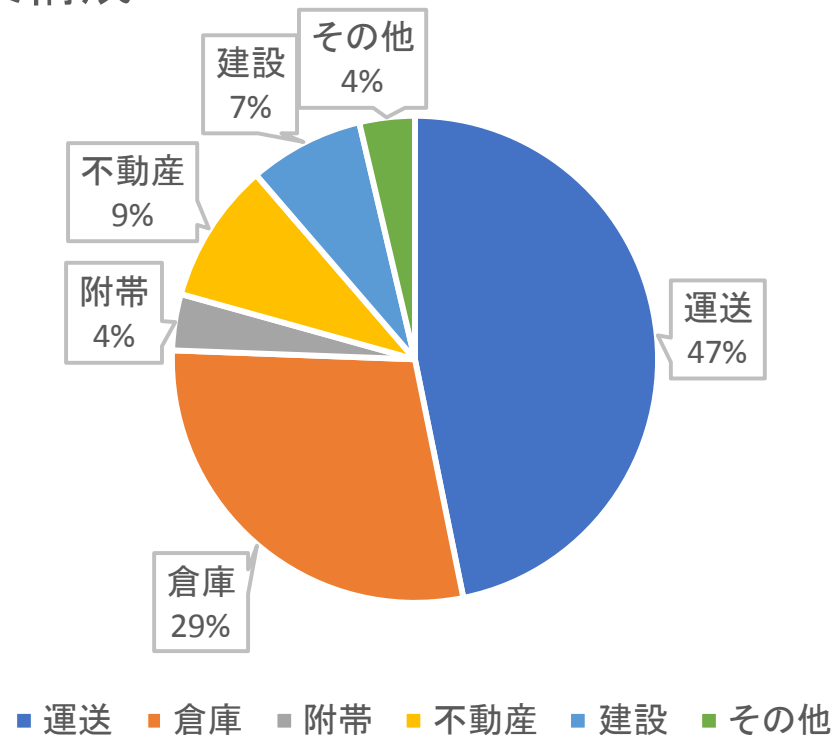
6.3社の概要比較

値は全てH30年3月期

会社名	南総通運株式会社	東部ネットワーク株式会社	大宝運輸株式会社
所在地	千葉県東金市	神奈川県横浜市神奈川区	愛知県名古屋市中区
事業内容	貨物運送事業(44%)、倉庫業(27%)、附帯事業(21%)他	貨物運送事業(77%)、商品販売事業(15%)、倉庫業(7%)他	貨物運送事業(80%)、倉庫業(18%)他
主要顧客	ジャパンフーズ株式会社(ボトラ、13%)	コカコーラボトラーズジャパン株式会社(29.5%)	サントリーフーズ、富士フィルムロジスティクス、アルペン、国分
取扱い品目	飲料、食品(コンビニ店舗配送)、産業廃棄物、危険物等	飲料、空ビン、空缶、石油、化学品、セメント等	飲料、食品(コンビニ向け)、機械類、電子部品等
設立	昭和17年11月	昭和18年12月	昭和26年9月
上場市場	東証 JASDAQ	東証 JASDAQ	名証2部
資本金	538百万円	553百万円	1,140百万円
売上高(単独)	10,636百万円	11,912百万円	8,402百万円
経常利益	1,200百万円	699百万円	233百万円
従業員数	746名	392名	861名(HPでは正社員400名、パートタイマー585名)
事業所数	千葉8支店、茨城、埼玉各1支店	神奈川県6箇所、他東日本中心に全国20か所	愛知県内9箇所、三重県1か所
保有台数	307台	未詳	395台

7.各社紹介 南総通運株式会社

事業構成



沿革

昭和17年 小型貨物運送業にて創業
昭和47年 倉庫業を開始、タクシー業開始
昭和49年 関係会社設立、清涼飲料水製造に進出
昭和54年 関係会社設立、建築、設備業に進出
昭和57年 関係会社設立、電子機器部品製造に進出
平成4年 産業廃棄物収集運搬業事業開始
平成16年 JASDAQ上場

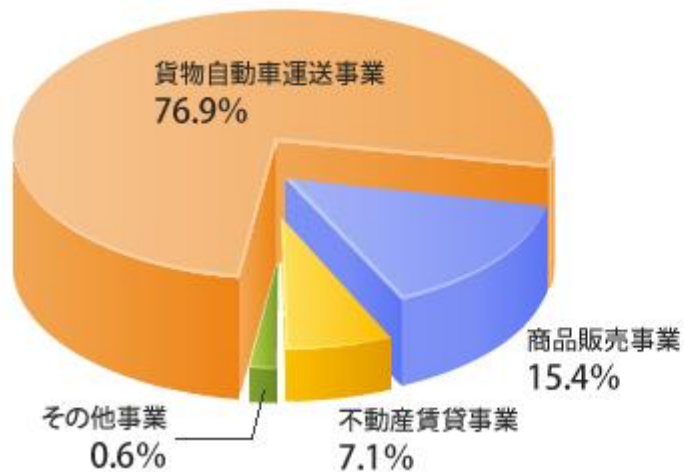
特徴

- ・飲料輸配送を中心に業界が異なる、コンビニ向け店舗配送(常温品)、塵芥収集を行っている
- ・グループ企業ではタクシー、観光バス等の旅客運送事業、人材派遣、建設業も行っている。

7.各社紹介 東部ネットワーク株式会社



事業構成



沿革

昭和18年貨物運送業として創業

昭和28年石油類の輸送開始

昭和36年びん容器類、清涼飲料の輸送開始

昭和42年セメント輸送開始

昭和43年石油等販売を開始

平成11年店頭登録

平成17年コカコーラナショナルビバレッジと関東・中京圏で運送契約

平成21年全国のボトラーズと運送契約

平成27年カンダHD、高末、ヒガシ21と包括業務提携

平成31年厚木労働基準監督署より書類送検(長時間労働)

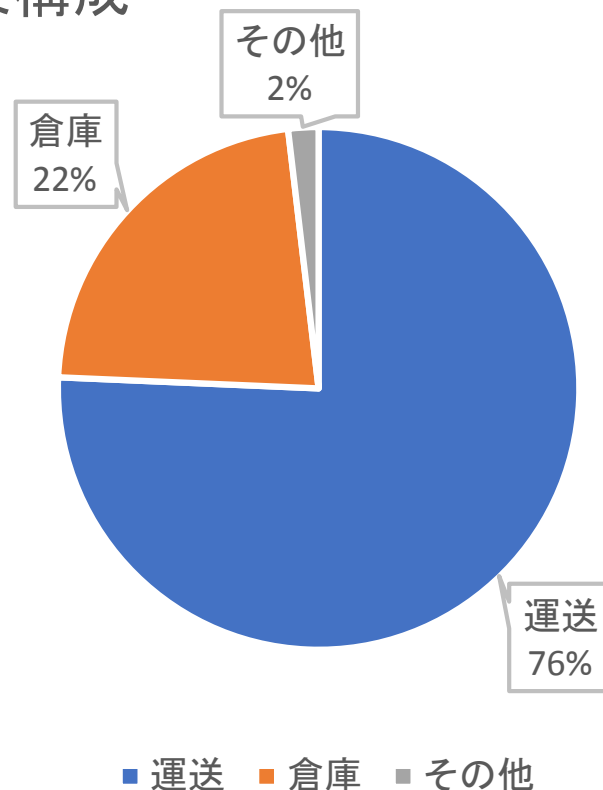
特徴

- ・ 大型トレーラー主体の構成(左図参照)
- ・ 主要顧客のニーズに沿って東日本の中心に広範囲な拠点を展開
- ・ カンダHD、高末株式会社、株式会社ヒガシ21社と包括業務提携。全国規模への布石を敷く。

7.各社紹介 大宝運輸株式会社



事業構成



沿革

昭和26年小型貨物運送業にて創業

昭和47年倉庫業を開始

平成6年 産業廃棄物収集運搬業事業開始

県外にはじめての支店を設置(三重県)

平成8年名証第2部上場

平成29年違法な長時間労働として愛知労働局長より社 名公表
令和元年9月、愛知県内に25億円かけたコールド物流センター稼
動予定。低温物流強化。

特徴

- ・ コンビニ向け店舗配送で365日24時間の配送体制を敷いている。
- ・ 食品以外では機械等重量物の輸配送も手掛けている。
- ・ 倉庫事業を応用し物流コンサルタント事業も手掛ける。

8.個人演習

3社から1社を選び財務諸表から読み取れる強みや経営課題を分析しましょう

	着目した経営指標	強みや経営課題
1		
2		
3		

メモ
